

丹波篠山市教育大綱

適用期間：令和元～4年度



豊かな歴史文化を守り継ぐ八上城跡

理念

一しあわせ多き
ふるさと丹波篠山を担う一

重点7項目

この大綱は、丹波篠山市が取り組む教育施策の基本方針を示したものです。
重点施策として、以下の7項目を掲げます。

1. ふるさと教育
2. 子ども・子育て支援の充実
3. 地域とともにある学校
4. 学力の確立と向上
5. スポーツに親しむ
6. 丹波篠山ならではの文化を育む
7. あいさつの励行

令和元年12月13日

丹波篠山市

1. ふるさと教育

(1) 丹波篠山ほど良いところはない……日本遺産のまち、農の都

ふるさとを大切にする教育、ふるさとを誇りに思い、自らがいろんな形でふるさとを担うことの大切さを実感できる教育が必要です。

丹波篠山市は日本遺産のまちであり、農都、きれいなまち並み、自然や文化など全国に誇り得るものがたくさんあります。

ふるさと丹波篠山の良さを学ぶ機会をつくり、丹波篠山ほど良いところはない、丹波篠山が大好きだ、丹波篠山で住みたい、という気持ちを育てる「丹波篠山学」（丹波篠山を学ぶ授業）を行います。

また、地域のお祭りなど行事への参加と人々とのふれあい、市内の良い所めぐり、農業体験、丹波篠山の食をいかした学校給食、自然とのふれあいなど、丹波篠山市の良いところを学ぶ機会をつくりまします。

(2) 丹波篠山の食をいかした学校給食……地元食材活用率日本一

丹波篠山市には、黒大豆や山の芋、お茶、お米、牛肉、旬の野菜など、豊かな風土に培われた素晴らしい食材が数多くあり、学校給食では地元食材を積極的に献立に取り入れています。

これらをいかし、「地元食材活用率日本一」の学校給食をめざします。

(3) 自然とふれあう教育……学校にヒーローをつくろう

丹波篠山市には、山、川、田と自然環境が豊かなため、そこに生きる動植物も豊富ですが、手入れされていない山やコンクリートで固められた川や水路が増えたため、子どもたちは昔のような自然と触れあう体験が乏しくなっています。体験の機会が少なくなったことに加え、遊びの多様化などもあり、さらに自然への関心の低下を招いています。しかし、丹波篠山の将来を担う子どもたちにこそ、魚採り、虫採りといった自然と触れあう体験を通して、ふるさとへの愛着を育む機会が必要です。

そこで、学校ごとに、オオムラサキ、オオサンショウウオ、モリアオガエル、オヤニラミ、サギソウなど、地域の特色ある動物や植物（ヒーロー）に自然に触れながら学び、育てることで、命の大切さ、思いやりの心、生きる力を育むとともに、ふるさとを大切にすることを高めます。

2. 子ども・子育て支援の充実

(1) 就学前の保育環境の整備

乳幼児期における教育は、子どもたちの生涯にわたる人格形成と基礎を培うための重要なものです。

社会情勢と地域の実情を把握しながら保育環境の整備を進めます。

(2) 早寝・早起き、朝ごはん

丹波篠山市では、「ふた葉プロジェクト～ぐっすり眠って、たのしく食べて、たっぷり遊ぼう～」として、家庭と一体となった乳幼児期からの生活習慣づくりに力を注いでいます。「早寝・早起き、朝ごはん」といった基本的な生活習慣づくりに努めます。

3. 地域とともにある学校

(1) コミュニティ・スクール……市民みんなが学校づくり

丹波篠山市では、新しい学校づくりに向け、「コミュニティ・スクール」の充実に取り組んでいます。「学校は市民みんなのもの」という意識を持ち、教員だけでなく、市民、保護者、地域住民が一体となって学校運営に参画しています。

これにより、授業の内容に「ふるさと教育」を取り入れ、子どもたちの豊かな成長を支えるとともに、学校の抱える課題には、教員だけではなく、地域をあげて早期に解決を図ります。

(2) 高齢者とともに学ぶ……おじいちゃん・おばあちゃんも学校へ

丹波篠山市でも、3世代同居の家庭が少なくなり、家の中で、おじいちゃん・おばあちゃんと関わる機会は減少しています。

学校を新たな生涯学習の場とし、高齢者大学を学校で行うことや、子どもたち（小学生など）と高齢者が同じ校舎で学ぶ「オープン講座」の開催など、ともに学習発表をするなどの機会をつくることにより、子どもたちの多様な価値観を育み学習意欲をさらに高めます。

4. 学力の確立と向上

(1) 読み、書き、計算、自己表現……一人も見捨てない

義務教育を通して確かな学力を高めます。そのキーワードとして、「読み、書き、計算、自己表現」を掲げます。「読み、書き、計算」などの基礎的・基本的な学力に加えて、“自己表現”する力を育み、自分の考えを伝え、人とつながる中で学びを深める学級づくり・授業づくりに引き続き取り組みます。

(2) 市内3高等学校との連携……丹波篠山で高校まで安心

丹波篠山市には、特色のある県立高等学校が3校あります。子どもたち

がどのような進路を選んでも、市内で安心して高等学校教育を受けることができるよう、充実した高等学校教育への支援、中学校と高等学校の連携に取り組めます。

5. スポーツに親しむ

子どもの頃からスポーツに親しみ、体力をつけ、丈夫な体をつくることは、生涯にわたり心身ともに健やかで幸せな生活を送るうえで大切です。学校での部活動や市民のスポーツ活動の環境を充実させます。

6. 丹波篠山ならではの文化を育む

(1) 歴史文化の継承と新たな文化の創造

丹波篠山市に住むことの良さが感じられるよう、豊かな歴史文化を守り伝えます。市民が行う芸術・文化活動を支援し新たな文化を創造することで、丹波篠山の魅力を高め丹波篠山が誇る文化力の向上に取り組めます。

(2) 身近な森との関わりから「木育」を推進

身近な森との関わりから、知育・徳育・体育を総合した丹波篠山市独自の「木育」を推進します。

具体的には、幼児期のどんぐり拾い、丹波篠山産材を使った施設や玩具などに触れる環境づくりを進め、学校教育の中で、子どもたちが「木の香りやぬくもり」を身近に実感できる丹波篠山市をめざします。

7. あいさつの励行

丹波篠山市では、人権意識やコミュニケーションを高めるため、市民全体でのあいさつ運動に取り組んでいます。地域や学校にも浸透し、「おはよう」「こんにちは」などの元気な声が飛び交うようになりました。この取り組みを継続することで、市民意識の向上とまちの活性化につなげます。

丹波篠山市教育大綱

発行 丹波篠山市
問い合わせ 丹波篠山市教育委員会事務局教育総務課 TEL 079-552-5709
